

2021年6月24日
株式会社インテリジェント ウェイブ

IWI、IP フロー監視ソリューション「EoM」をフィンランド公共放送 Yle へ提供 ～次世代 IP 放送に欠かせない、IP フローの詳細をリアルタイムに可視化するソリューション～

株式会社インテリジェント ウェイブ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：佐藤邦光、以下 IWI）は、フィンランド共和国の公共放送である Yleisradio Oy（本社：フィンランド ヘルシンキ、CEO：Merja Ylä-Anttila、以下 Yle）へ、IP フロー監視ソリューション「EoM」を提供したことを発表します。

【今回の EoM 採用の背景と評価点】

Yle は現在構築中の次期マスター・コントロール・ルームでの IP フローの常時監視と分析を目的として EoM を採用しました。製品選定の過程で行われた PoC では EoM の以下の特徴が高く評価されました。

<YLE による EoM の評価点>

- 100GbE へ対応しており、多数のデータ種別に対応していること
- 追加の投資や人的リソースを必要とせずに常時監視が可能となること
- 過去データの詳細な分析が可能となることで、障害の原因追及が行えること
- 他社製の統合監視製品との接続機能が用意されていること
- OSS を利用したソフトウェアベースの製品であるため、柔軟に設定変更が行えること

【EoM について】

EoM は、IWI がペイメントシステムや証券業界向けシステムの開発で培ってきた高速データ処理の技術と、FPGA^(注1)技術を組み合わせることにより、NHK と共同で開発した放送業界向け IP フロー監視ソリューションです^(注2)。4K/8K 放送の普及により、放送業界では IP 化された放送設備が必要となっており、放送の品質の維持・向上のために個々の IP を詳細に監視するソリューションの必要性が高まっています。EoM は、放送の IP 化において標準規格となっている SMPTE ST2110、ST2022 をはじめとした主要なデータ種別に対応しており、障害時の原因把握やリアルタイムでのデータ分析・可視化を実現することで、IP 化された放送システムの運用コストの大幅な削減に貢献します。IWI は今後も EoM の機能拡張を継続的に行い、本格的な IP 化を迎えた放送業界における IP 放送の品質維持・向上に貢献していきます。

(注1) FPGA(field-programmable gate array) : 製造後に構成を設定できる集積回路

(注2) NHK と IWI は共同で特許を出願済み

【機能について】

IWI は EoM の機能拡張を継続的に行っており、現在の EoM は以下の機能を実装しています。

- 10GbE / 25GbE / 100GbE において、SMPTE ST 2110 などをはじめ 12 のデータ種別を監視
- データ種別毎のビットレート、パケットドロップ数、レイテンシー、ジッターなどを可視化
- 任意の閾値を設けたアラート設定
- 映像音声パケットのデコード機能

- 他社製の統合監視製品との接続機能

<EoM 情報詳細>

<https://www.iwi-marketing.com/>

【株式会社インテリジェント ウェイブ（IWI）について】

IWI は、ペイメント市場におけるオンラインネットワーク基盤のシステム構築を中心に、証券市場向け超高速株価情報システムなど、金融業界向けの大量データをリアルタイムかつ正確に処理するシステムの開発・構築・保守を手がけており、日本国内での圧倒的なシェアを獲得しています。金融業界を中心に 30 年以上にわたって大容量・低遅延・高速分析を追求するだけでなく、内部情報漏洩対策製品等の開発・販売も手掛け、ビジネスを成長させております。IWI は「次代の情報化社会の安全性と利便性を創出する」を経営理念に、高速、安全、高品質で利便性の高い IT 基盤を提供して、企業のデジタルトランスフォーメーションを支援しています。IWI は大日本印刷グループの一員であり、東京証券取引所市場第一部に上場しています。

<https://www.iwi.co.jp>

※記載の商品名、会社名は各社の商標または登録商標です。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社インテリジェント ウェイブ 第三システム開発本部

Tel : 03-6222-7051

Email : eom@iwi.co.jp